

第113回東京大学公開講座「ホネ—万物を架橋する—」

# 失業体験を支えるこころのホネ

教育学研究科

高橋 美保

# 働くことの重要性

- 個人にとって

アイデンティティに関わる

人生の多くの時間を仕事に費やしている  
仕事は生きること(Life)に関係する

⇒ 生活、人生、生命

- 社会にとって

日本の人口の約半分は働いている  
社会経済の発展のために



# 働くことの社会的背景の変化

2010.10.23. 公開講座「失業体験を支えるころのホネ」 東京大学大学院教育学研究科 高橋 美保

# 働くことの社会的背景の変化

- ・古代ギリシアの労働観: 「労働観」は労苦や骨折りという肉体労働的なニュアンス
- ・前近代: 家業に従事するという漠然とした労働意識
- ・産業化: 分業された「職業」に選択的に就く
- ・高度経済成長期: 第2次産業, 第3次産業の企業の成長  
「働くこと」は「会社に入る」ことに

「働くこと」は, 歴史的, 社会的な流れの中で,  
少しずつ変化している

# 働くことの社会的背景の変化

- ・高度経済成長期の働き方

終身雇用、年功序列による人生設計

- ・1990年代のバブル経済の崩壊

中高年者のリストラ、新卒者の就職氷河期

- ・働き方の多様化

非正規雇用の増加

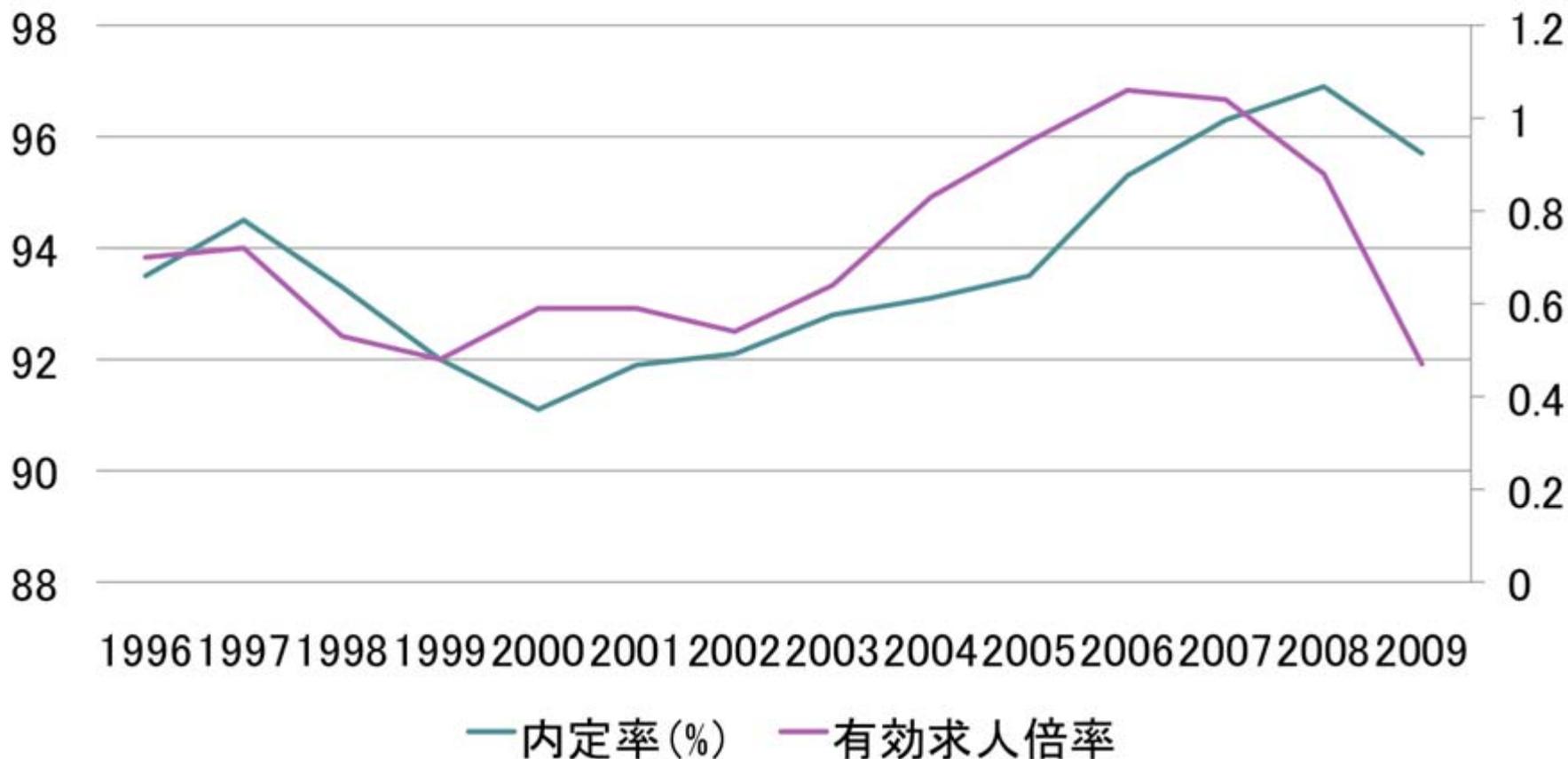
- ・若者の職業観、職業人としての資質や能力の問題

# 働きたくても働けない

- ・新卒の内定率と有効求人倍率の低下
- ・完全失業率の増加
- ・非自発的離職者数の増加

# 新卒内定率と有効求人倍率の推移

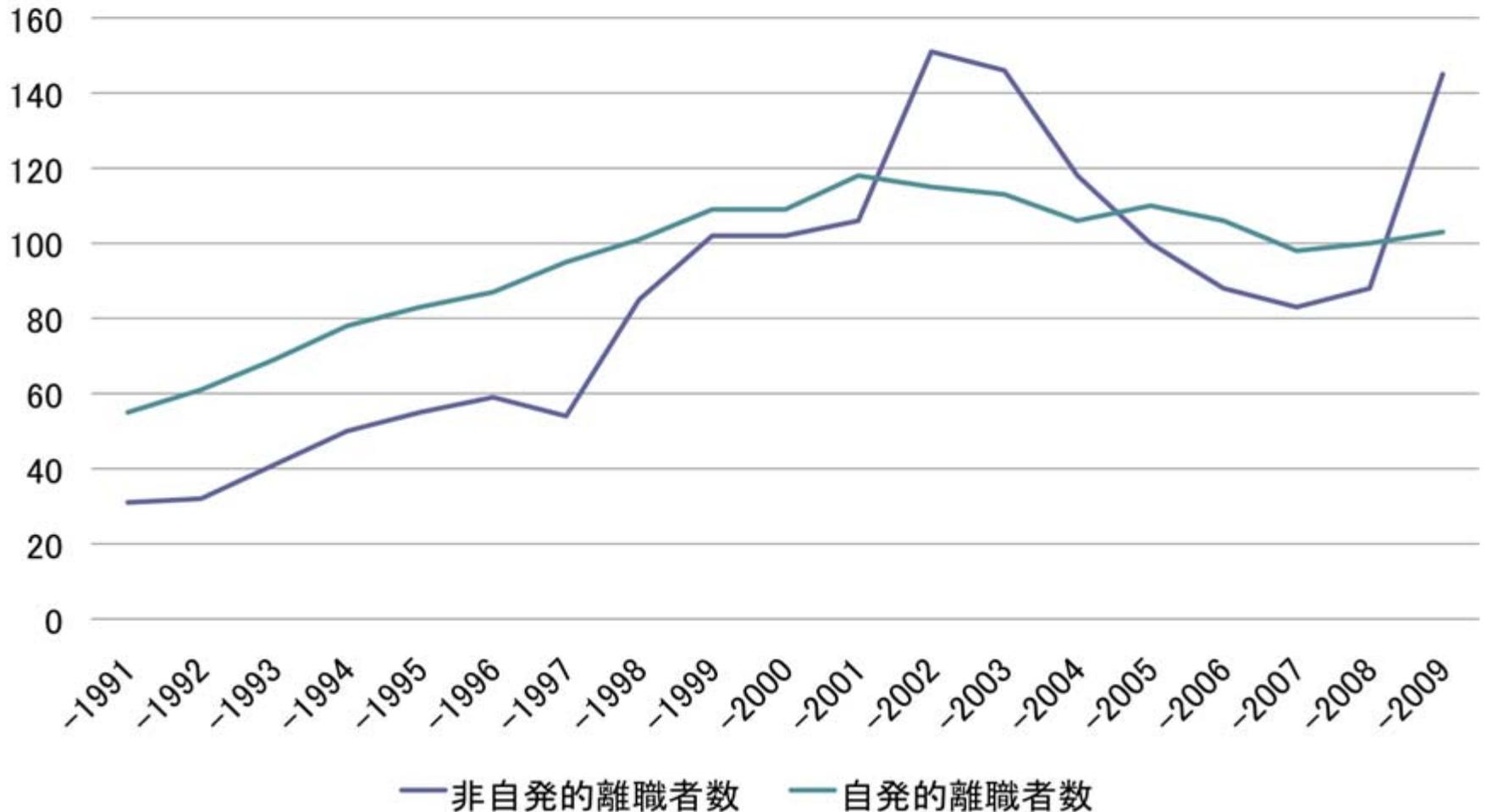
## 内定率と有効求人倍率の推移



厚生労働省「平成21年度大学等卒業者の就職状況調査」

# 非自発的離職の推移

## 離職理由別失業者数の推移



(総務庁, 平成21年度労働力調査) 8



# 失業とは

2010.10.23. 公開講座「失業体験を支えるころのホネ」 東京大学大学院教育学研究科 高橋 美保

# 失業とは

- 完全失業者の定義

- ①仕事についていない
- ②仕事があればすぐ就くことができる
- ③仕事を探す活動をしていた

- 完全失業率の定義

完全失業率(%) = 完全失業者 / 労働力人口 × 100

# 失業の実態

- 失業に関するデータ

完全失業者数: 336万人

完全失業率: 5.1%

非自発的な離職: 145万人

＞ 自発的な離職: 103万人

世帯主の完全失業者数: 83万人

(総務庁, 平成21年度労働力調査)



# 失業体験とは

2010.10.23. 公開講座「失業体験を支えるころのホネ」 東京大学大学院教育学研究科 高橋 美保

# 失業のストレス

社会・文化

社会政策

社会的

経済的

心理的



# 中高年者の失業体験

中年期の  
発達的問題

日本の  
文化社会的価値観

失業によって  
生じる問題

失業によって生活や人生が根底から揺らぐ

抑うつ

自殺



# 失業体験から学ぶこと

2010.10.23. 公開講座「失業体験を支えるころのホネ」 東京大学大学院教育学研究科 高橋 美保

# 失業体験から学ぶこと

- 失業して気付いたこと
  1. 仕事を持つ潜在的機能の発見
  2. 働くことの価値の再認識
  3. 働き方の再検討



# 1. 仕事を持つ潜在的機能の発見

・就労から考える働くことの意味  
(意図されるもの)

①経済性

②義務感

③社会的価値

④自己実現

⑤帰属性

手段

目的

・失業からわかる働くことの意味  
(意図されないもの)

①習慣的な時間構成

②人生における目的

③社会的接触

④地位とアイデンティティ

⑤日々のルーティンな活動

健全な社会生活を送る  
ために必要なこと

## 2. 働くことの価値の再認識

### ・個人のレベル

失業中に感じる罪悪感・恥の意識

⇒ 人は働くべきであるという価値観への気づき

⇒ 再就職後の働ける充実感

### ・社会のレベル

失業中に感じる社会からの排除・スティグマ

⇒ 働くこと自体の価値、社会的信用

⇒ 再就職後は社会的信用を再獲得

働くことについてどのように考えてきただろうか

# 3. 働き方の再検討

## ・会社が唯一のコミュニティ

失業によって会社だけでなく、社会を失う

⇒ 再就職では会社との距離を保つ

⇒ 再就職後は会社以外に幅広い社会を持つ

どのように働いてきたか  
そして、今後どのように働きたいか



# しなやかに生き抜くために

2010.10.23. 公開講座「失業体験を支えるころのホネ」 東京大学大学院教育学研究科 高橋 美保

# 働くことと生きること

## • キャリア

職業、職務としてのキャリア＝職業キャリア  
生涯を通して演じられる役割＝ライフ・キャリア

仕事や職業はなくしたり、変わることもあるが、  
仕事やそれ以外の役割も含めたキャリアは、  
自分自身のもの

# 失業体験を支えるこころのホネ

- 何になりたいか → どうありたいか
- 会社＝自分  
→ 生活やアイデンティティのバランスをとる
- 自分の人生のストーリーの主役  
働くことの意味を生きることの意味から  
主体的に意味づける



ご清聴ありがとうございました